

重点施策評価検証シート【平成30年度実績】

項目	Plan1 “農業”の新たな可能性
----	-------------------

1. 施策の方針と評価指標

施策の意図	農業を次世代に引き継ぐため、農業のさらなる発展に向けた取り組みを進めます。		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・研修や営農指導による農業技術の継承を強化し、農業後継者の育成確保、新規就農支援を進めるとともに、法人化支援等の農業経営支援、農地集積等の基盤整備により、次世代へ引き継ぐ力強い農業の形成に取り組めます。 ・安全・安心な農産物の生産を進めるうえでの地域課題の解決に努め、鷹栖産物の魅力を最大限に生かし、活気のある農村の発展を目指します。 		
重要業績評価指標(KPI)	目標値	説明	30年度完了時点での達成状況
新規就農者	10人	H27～31年度の累計	○
新規法人参画	10件	農業生産法人の新規設立 H27～31年度の累計	
大区画増	853.1ha	圃場大規模化の整備面積 H27～31年度の累計	
集約化率	90%	担い手への農地集約化率 H31年度完了時点	○
農業作付面積	3,359ha	農業者別作付面積 H31年度完了時点	
ブランド化	5品目	農産物新規ブランド化 H31年度完了時点	

2. 施策の達成状況と今後の方向性(事務局評価)

<p>平成30年4月より新規就農者の研修施設である「あったかファーム」を開設するなど、Uターンの後継者も含め新たな担い手の確保については前進しており、今後も継続した確保、育成を見込む。複数戸法人の育成や、既存ブランドを含めたブランド化の推進、水稻以外のそ菜振興は、継続して大きな課題であり、今後も取り組みを強化して進めていく必要がある。</p>
--

3. 鷹栖町地方創生戦略策定会議(外部評価)

<p>20年、30年後に鷹栖町農業が持続するために次世代の就農者を育てていくことは必要であり、地道に進めていかなければならない。ブランド化に関しては、鷹栖町にとってのブランド化の位置づけや、ブランド化を通して何を指すのかについて、次期戦略の策定に向けてあらためて整理して取り組む必要がある。</p>

重点施策評価検証シート【平成30年度実績】

項目	Plan2 地域経済に“活力”を
----	------------------

1. 施策の方針と評価指標

施策の意図	商工業の発展を支援し、安定した雇用の創出を図ります。		
施策の方向性	・商工会や金融機関との連携強化を図り、中小企業者の経営安定や商店街の活性化を推進し、地元での購買力向上を目指します。		
重要業績評価指標(KPI)	目標値	説明	30年度完了時点での達成状況
販売活動促進事業利用件数	20件	H27～31年度の累計	
新規開業支援事業活用件数	5件	H27～31年度の累計	○
新規参入企業数	7社	H27～31年度の累計	
雇用促進対策事業利用件数	10件	H27～31年度の累計	○

2. 施策の達成状況と今後の方向性(事務局評価)

<p>新規開業支援事業は利用実績が目標値を達成し、商店街の活性化と事業活動の継続に一定の成果を得ている。一方、長期的な展望では空き店舗の増加や事業主の高齢化、エリア全体の価値の向上、町内消費の流出など、さらに取り組みを強化しなければならない課題は多い。また、雇用に関してはKPIの積み上げはあるが、多様な働き方のニーズに対応した需給のマッチングなど、一層の取り組みの工夫が必要。</p>

3. 鷹栖町地方創生戦略策定会議(外部評価)

<p>次期戦略に向けて、企業誘致と工業団地の販売促進、雇用創出を、それぞれの目的に応じて整理したうえで推進すべき。新規の起業を支援することが必要であり、挑戦しやすい環境づくりとしてチャレンジショップのような取り組みの検討を進めると良い。</p>
--

重点施策評価検証シート【平成30年度実績】

項目	Plan3 地域資源の“新たな展開”
----	--------------------

1. 施策の方針と評価指標

施策の意図	観光資源の確立により、交流人口の増加を図ります。		
施策の方向性	・既存の観光施設のほか、地域性を生かした新たな観光資源の発掘を進めます。 ・特産品開発や鷹栖産商品のブランド化を推進し、地域資源を活用した地場製品の販売促進、開発研究に努めます。		
重要業績評価指標 (KPI)	目標値	説明	30年度完了時点での達成状況
イベント等における観光者数	145,000人	観光関連施設等の来場者数(町把握) H31年度完了時点	
冬季体験事業数	5事業	H31年度完了時点	
グリーンツーリズム実施箇所数	5カ所	H31年度完了時点	
地場産品として確立している商品数	50個	H31年度完了時点	○

2. 施策の達成状況と今後の方向性(事務局評価)

観光分野はKPIの達成には至っていないが、事業者による地域資源を活用した新たな取り組みや、地域おこし協力隊員を中心とした食の観光資源化が動いている。地場産品商品数は、事業者による新たな開発によって積み重ねがあり、目標値を達成。施策全体で底上げを進めて、魅力的な地域性を創出するため、各資源を有機的につなぐなど、行政としての支援の方策を調査研究し、取り組みの加速化、高度化を推進する必要がある。
--

3. 鷹栖町地方創生戦略策定会議(外部評価)

次期戦略に向けて、鷹栖町としてどのような観光を目指すのかをより明確に示すこと、農業と観光のタイアップという視点が必要である。地場産品数は着々と進んでいる面があり、町内外への認知や作ったものを売るという部分が、次期戦略の課題の1つとなる。
--

重点施策評価検証シート【平成30年度実績】

項目	Plan4 地域の“宝”子どもを育む
----	--------------------

1. 施策の方針と評価指標

施策の意図	若い世代が子どもを産み育てやすい環境をつくれます。		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の保育や学校教育、放課後児童クラブなど、様々な子育て支援の拡充や質の向上を進め、地域全体での子育て環境づくりを目指します。 ・子どもの発達段階を踏まえ、成長に応じた支援体制の確立を目指します。 ・ひとり親世帯など生活支援が必要な家庭への支援を継続して進めます。 		
重要業績評価指標 (KPI)	目標値	説明	30年度完了時点での達成状況
出生数	50人	年間出生数 H31年度完了時点	
不妊治療助成制度利用者	10人	H27～31年度の累計	○
保育園における待機児童なしの継続	待機児童なし	H31年度完了時点	
子育て支援センター年間利用者延べ人数	8,000人	H31年度完了時点	
放課後児童クラブにおける待機児童なしの継続	待機児童なし	H31年度完了時点	○

2. 施策の達成状況と今後の方向性(事務局評価)

<p>子育て、保育に関する各施設や相談体制など、それぞれの機能の充実を進めていることは、子どもを産み育てやすい環境づくりとして一定の評価はできる。一方で、国の施策や社会環境の変化などの影響により、0歳児からの保育ニーズが高まっており、平成31年3月末で0歳児1名の待機児童が生じた(4月1日で解消)。今後の社会情勢や地域の状況を見据えて、長期的に安定した子育て支援の基盤を構築し、子育て世代の安心を小さくとも一つずつ、継続して積み重ねていくことが必要。直近で出生数の評価指標達成は厳しい見込みではあるが、こうした小さな安心の積み重ねによってしか、成果はなし得ないと考え、長期的視野を持って取り組みを進めていく。</p>

3. 鷹栖町地方創生戦略策定会議(外部評価)

<p>手厚い子育て支援環境は評価ができる。働きながら子育てができるという子育て世代の希望を実現することを今後も目指していくべきである。保育の受け皿については、国の制度による影響や人材不足、多様なニーズなどの複雑な要因があるなかで難しい課題ではあるが、次期に向けてどのような方向で進めていくのか検討が必要。</p>
--

重点施策評価検証シート【平成30年度実績】

項目	Plan5 みんなで目指す“生涯元気”
----	---------------------

1. 施策の方針と評価指標

施策の意図	誰もが安心して安全に暮らせるまちの実現		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 誰もがいつまでも住み慣れた地域で生活できるよう、社会福祉協議会と連携を図りながら、地域福祉の充実に努めます。 健康で安心して暮らせるよう、健康づくりに関する取り組みの推進を図ります。 		
重要業績評価指標 (KPI)	目標値	説明	30年度完了時点での達成状況
地域サロン設置数	15カ所	H31年度完了時点 (10⇒15へKPI上方修正)	
障がい者雇用の受け入れが可能な企業数	5社	H31年度完了時点	○
各種がん検診受診率	50%	(胃・肺・大腸・乳・子宮)がん検診 H31年度完了時点	
特定健診受診率	50%	H31年度完了時点	○
介護認定者平均年齢	86歳	H31年度完了時点	

2. 施策の達成状況と今後の方向性(事務局評価)

<p>自立経営へ移行するサロンが増え、また新たな地域拠点サロン設立に向けた動きもあり、今後も住民と行政とで連携した福祉活動の充実を進めていく。健康づくり分野では、事業内容を改善しながら取り組んでいるが、評価指標の目標値達成は厳しい見込みの項目もある。施策の横連携などの工夫、改善を重ねる。</p>
--

3. 鷹栖町地方創生戦略策定会議(外部評価)

<p>地域サロンは、地域に広げていくという第1期の段階が区切りを迎え、町として今後どのように位置づけていくのかあらためて検討すべき。地域の安心の実現に向けて、本当に支援が必要な人に支援を届ける、来ない人には行政から出向いていくという姿勢が今後ますます重要であると考えます。</p>
--

重点施策評価検証シート【平成30年度実績】

項目	Plan6 豊かな未来へ“学校づくり”
----	---------------------

1. 施策の方針と評価指標

施策の意図	地域の特色を生かした教育を展開し、未来を担う心豊かな子どもを育みます。		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、きめ細やかな対応ができる体制づくりを推進し、子どもたちが充実した学校生活がおくれる環境づくりに努めます。 ・子どもたちの基本的生活習慣を定期的に把握するなど、学校・地域・家庭が連携し、地域全体での教育環境づくりを目指します。 ・町立以外の幼稚園や高校、養護学校との連携を密に図り、情報を共有しながら、地域の特色を生かした教育を推進します。 		
重要業績評価指標 (KPI)	目標値	説明	30年度完了時点での達成状況
鷹栖町生活習慣見直し運動の継続実施	継続	H31年度完了時点	○
町内企業と連携したキャリアウィークの継続実施	継続	鷹栖中学校における事業 H31年度完了時点	○
鷹栖高校における介護職員初任者資格取得者数	50人	介護職員初任者研修受講生 H27～31年度の累計	○
交流事業利用者数	75人	姉妹都市、交流自治体との事業利用者 H27～31年度の累計	

2. 施策の達成状況と今後の方向性(事務局評価)

KPIはすべての項目で最終的な達成が見込まれ、順調に取り組みを継続することができたことから、一定程度、充実した教育環境を整備できたといえる。一方で、困り感のある子どもへの対応、スマートフォンなどの普及による子どもたちへの影響など、より一層の取り組みが求められる課題も見えてきている。コミュニティスクールの導入に伴い、今後はさらに、地域との連携、各教育機関での連携を強化し、地域の特色を生かした教育環境を高度化していく。

3. 鷹栖町地方創生戦略策定会議(外部評価)

現状で町民の満足度は高い分野であり、この望ましい状態を維持するとともに、鷹栖町の強みとしてより一層磨き上げることが望まれる。次期戦略に向けては、子ども目線に寄り添った政策、高校生を対象とした取り組みの強化を期待したい。

重点施策評価検証シート【平成30年度実績】

項目	Plan7 “たかすてき”な暮らしのススメ
----	-----------------------

1. 施策の方針と評価指標

施策の意図	総合的な住環境の整備等により、移住・定住の促進を図ります。		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・移住定住を希望している方にとって魅力ある施策を展開するとともに、移住定住に関する情報発信の強化に努め、多方面から情報収集ができる環境づくりを推進します。 ・新たな産業の創出と雇用拡大により、移住・定住希望者が安心して働ける環境づくりに努めます。 		
重要業績評価指標(KPI)	目標値	説明	30年度完了時点での達成状況
定住促進補助金による転入者数	350人	町の補助制度利用した転入者数 H27～31年度の累計	
移住相談件数	50件	町の相談窓口実績 H27～31年度の累計	○
空き家バンク登録件数	40件	H27～31年度の累計 (10⇒40へKPI上方修正)	○
ちょっと暮らし利用件数	10件	H27～31年度の累計	○
公営住宅入居率	90%	H31年度完了時点	
鷹栖町からの年間流出人口平均	200人	年間転出者数の平均 H27～31年度の累計	
パレットヒルズを訪れた人の満足度	70%	H31年度完了時点	○

2. 施策の達成状況と今後の方向性(事務局評価)

<p>平成30年度実績で社会増減に一定の改善が見られ、移住者や関係人口による地域活動の新たな流れも広がりつつあり、鷹栖町版CCRC構想を基盤とした移住定住の推進に一定の成果を得ている。空き家対策での官民連携や、暮らしの充実を図る教育や福祉との政策間連携は着実に前進している一方、しごと分野で成果を高めていくための施策の連携が課題。地域住民の満足度を高める定住対策を引き続き基盤として、地域課題の解決や持続可能な地域コミュニティの形成に寄与する移住施策を推進する。</p>

3. 鷹栖町地方創生戦略策定会議(外部評価)

<p>暮らしやすさという点で鷹栖町の評判は良いので、この基盤をもとにまちづくりを高め、PRしていくべき。大学生など町外の若者と地域との交流の機会を充実し、将来的に鷹栖町に関わってくれる人材の確保という視点を、次期戦略に向けて検討していく。</p>

重点施策評価検証シート【平成30年度実績】

項目	Plan8 暮らしの安心“小さな拠点”
----	---------------------

1. 施策の方針と評価指標

施策の意図	市街地及び各集落において、地域住民が生活しやすい環境づくりを推進し、小さな拠点としての整備を図ります。		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中心的役割を果たす公共施設等の適正な管理を行い、地域住民の活動拠点施設としての維持に努めます。 ・地域の人口動態を注視しつつ、交通ネットワークの形成や自然環境との共生など、将来を見据えた拠点づくりを推進します。 ・集落生活圏を維持するための総合的な防災体制の構築を目指します。 		
重要業績評価指標(KPI)	目標値	説明	30年度完了時点での達成状況
年間住民センター利用者数	40,800人	H31年度完了時点	
図書室の利用者数	5,600人	H31年度完了時点	○
自然災害による人的被害件数ゼロの継続	継続	H27～31年度の累計	○
新たな交通体系の確立	確立	町営バスのデマンド化実施 H31年度完了時点	○
長寿命化計画に基づく整備割合	47%	H31年度完了時点	
環境基本計画に基づく活動進捗度	100%	H31年度完了時点	
新規施設における新エネ・省エネ対策の対応割合	100%	H31年度完了時点	

2. 施策の達成状況と今後の方向性(事務局評価)

<p>鷹栖地区住民センター改修に伴う図書室のリニューアルの成果から、図書室の利用者数が増加して新たにKPIを達成し、拠点センターの交流機能が住民の生活の質の向上に一定程度寄与しているといえる。次期計画期間に向けては、各地区の実態に応じた地域運営のあり方について検討を進め、小さな拠点としての機能をより一層高めていく。</p>
--

3. 鷹栖町地方創生戦略策定会議(外部評価)

<p>社会教育がまちづくりに果たす役割は大きくなっていく。コミュニティスクール運営との関わりに期待する。1人でも多くの町民が、安全で安心なまちをつくっていく、という意識を高めることが必要。次の世代、子どもたちの世代へまちをつないでいく、という視点が大切。</p>

重点施策評価検証シート【平成30年度実績】

項目	Plan9 “手と手をつなぐ”まちづくり
----	----------------------

1. 施策の方針と評価指標

施策の意図	地域住民の声を聞きながら協働のまちづくりを推進します。		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ニーズへの対応や身近な課題を解決する取り組みを促進します。 ・「町民」「行政」「町民と行政」それぞれの役割を明確にし、連携を図りながら地域の活性化に努めます。 ・町民のみならず、鷹栖町を応援してくれるファンを含め、交流の拡大を目指したまちづくりを展開します。 ・上川中部定住自立圏を構成している市町等、各地域との連携による広域業務の推進を図ります。 		
重要業績評価指標(KPI)	目標値	説明	30年度完了時点での達成状況
鷹栖町振興補助金活用件数	24件	H31年度完了時点	○
ホームページ年間アクセス数	250,000件	H31年度完了時点	
鷹栖町フェイスブック“いいね”件数	1,500件	H31年度完了時点	
まちづくり懇談会参加者数	300人	H31年度完了時点	○
ふるさと納税件数	4,000件	H31年度完了時点	○
サポーター会員数	2,500人	町ふるさとサポーター制度 H31年度完了時点	

2. 施策の達成状況と今後の方向性(事務局評価)

<p>振興補助金活用件数やまちづくり懇談会参加者数のKPIが目標値を達成し、協働のまちづくりの取り組みが前進していると評価する。交流や協働を一層広げるための、より効果的な広報活動のあり方や、KPIが目標値には達成しているものの実件数が減少傾向のふるさと納税の方針は、ともに課題として認識。住民参加の促進と交流の拡大による地域活力の増加に向け、工夫した事業推進に都市組む。</p>

3. 鷹栖町地方創生戦略策定会議(外部評価)

<p>将来的に鷹栖町に関わってくれる若者や町外の人材の確保という視点を、次期戦略に向けて検討していく。</p>
